

「個人企業に関する経済調査」に関する意識調査の結果について(結果概要)(未定稿)

1 調査の目的

「個人企業に関する経済調査(試験調査)」の調査対象に対し、事後的に意識調査を行うことにより、調査実施者が官か民かによる報告者の反応、協力度の違い等を把握する。

2 調査の対象

「個人企業に関する経済調査(試験調査)」(平成18年7-9月期及び10-12月期で実施)の調査対象事業所を対象としている。

移転、廃業、休業等の事業所は除く。

3 調査の方法、スケジュール

調査終了後の事業所に対し、直接アンケート用紙を1月31日(調査対象事業所名簿の提出が遅れた一部事業所については2月8日)に送付。2月8日及び2月19日に督促状を送付し、2月27日までの到着分について集計を行った。(アンケート用紙は別紙のとおり)。

4 回収結果

	配布数	有効回収	未回収等 1	有効回収率 (%)
試験調査 計	2,317	1,306	1,011	56.4%
調査A 全国	1,566	865	701	55.2%
調査B 北海道	162	80	82	49.4%
調査B 福井県	118	90	28	76.3%
調査B 静岡県	121	78	43	64.5%
調査B 京都府	133	71	62	53.4%
調査B 広島県	217	122	95	56.2%
本体調査 2	1,312	669	643	51.0%

1 白紙回収、不配達を含む。

2 平成17年7-9月期から平成18年4-6月期に調査を実施した事業所を対象

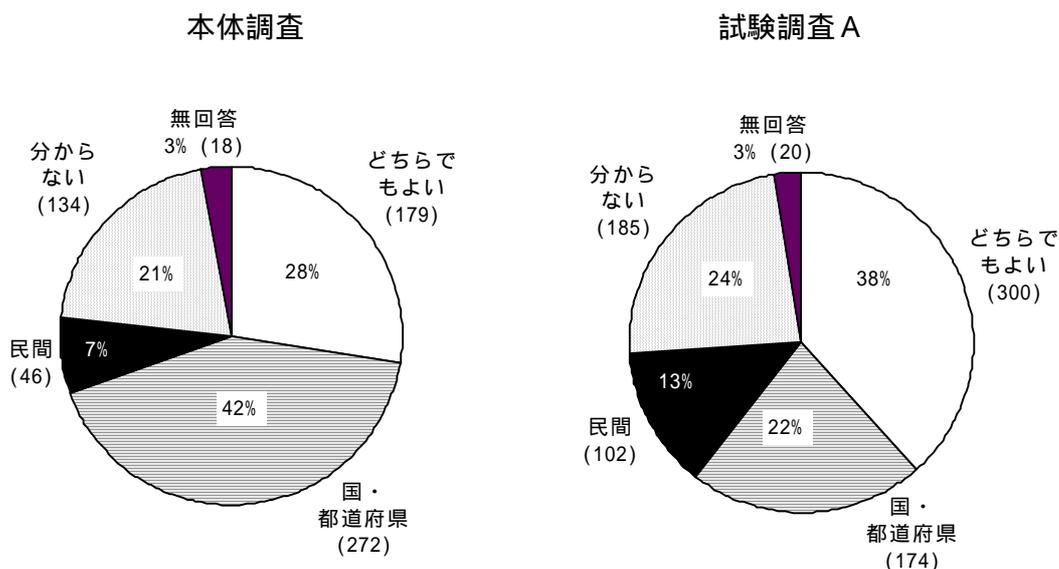
5 結果の概要

《本体調査と試験調査Aの比較》

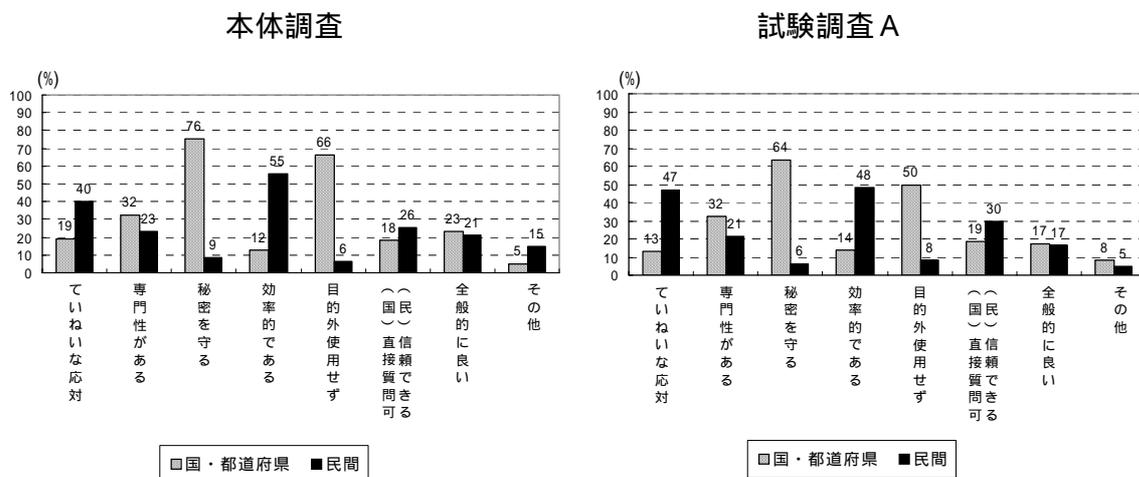
問7 統計調査の事務の一部はどちらが行ったほうがよいか

(対象：問1で調査票の配布を受けたと回答した事業所)

- ・「どちらでもよい」の割合は、試験調査Aの方が10ポイント高い。
- ・「国・都道府県がよい」の割合は、本体調査の方が20ポイント高い。
- ・「民間がよい」の割合は、試験調査Aの方が6ポイント高い。
- ・本体調査、試験調査Aともに「国・都道府県がよい」の割合が「民間がよい」よりも高いが、本体調査の35ポイント差に対して、試験調査Aでは9ポイント差になっている。



- ・「国・都道府県がよい」の理由は、回答の多い順に本体調査、試験調査Aともに「秘密を守る」、「目的外使用せず」、「専門性がある」の順になっている。
- ・「民間がよい」の理由は、回答の多い順に本体調査、試験調査Aともに「効率的である」、「ていねいな対応」、「信頼できる」の順になっている。



問6 調査員が民間の調査会社の調査員（本体調査は都道府県知事が任命した非常勤の地方公務員）であることを知っていたか

（対象：問1で調査票の配布を受けたと回答した事業所）

- ・本体調査では、調査員の身分を「知っていた」の割合が4割程度であったのに対して、試験調査Aでは、民間の調査会社の調査員であることを「知っていた」の割合が6割程度と2割程度高くなっている。

	実数		割合	
	知っていた	知らなかった	知っていた	知らなかった
試験調査A	437	318	58%	42%
本体調査	240	368	39%	61%

問6 調査員の身分を知っていたか × 問7 統計調査の事務の一部はどちらが行ったほうがよいかのクロス集計は以下のとおり

（対象：問1で調査票の配布を受けたと回答した事業所）

本体調査

	どちらでもよい	国・都道府県	民間事業者	分からない	無回答	計
知っていた	32%	49%	6%	13%	0%	100%
知らなかった	26%	38%	8%	26%	1%	100%
無回答	15%	32%	0%	17%	37%	100%

試験調査A

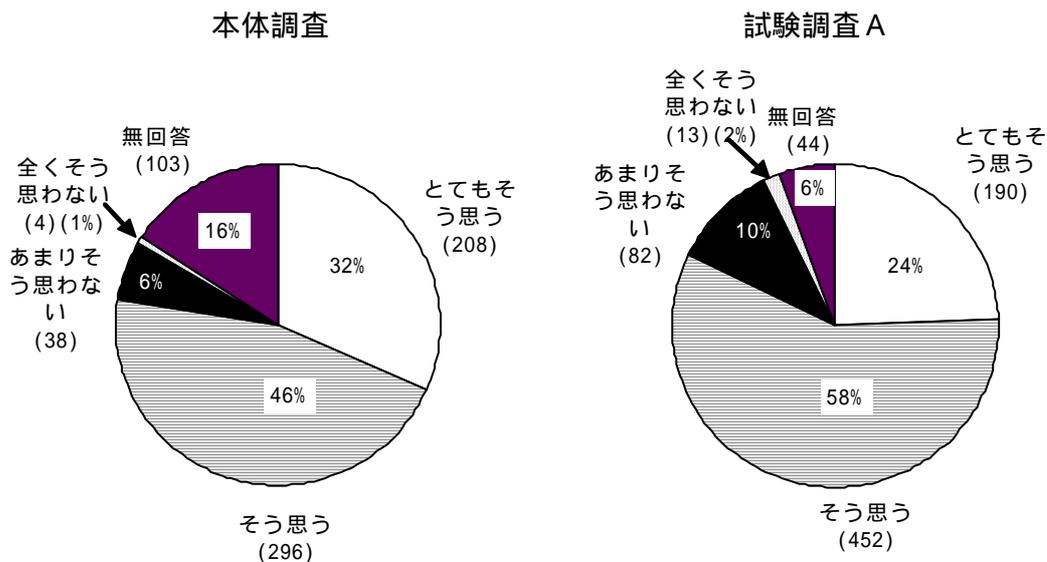
	どちらでもよい	国・都道府県	民間事業者	分からない	無回答	計
知っていた	43%	22%	15%	19%	2%	100%
知らなかった	34%	23%	11%	31%	1%	100%
無回答	19%	27%	4%	15%	35%	100%

問4 調査員の対応についての評価

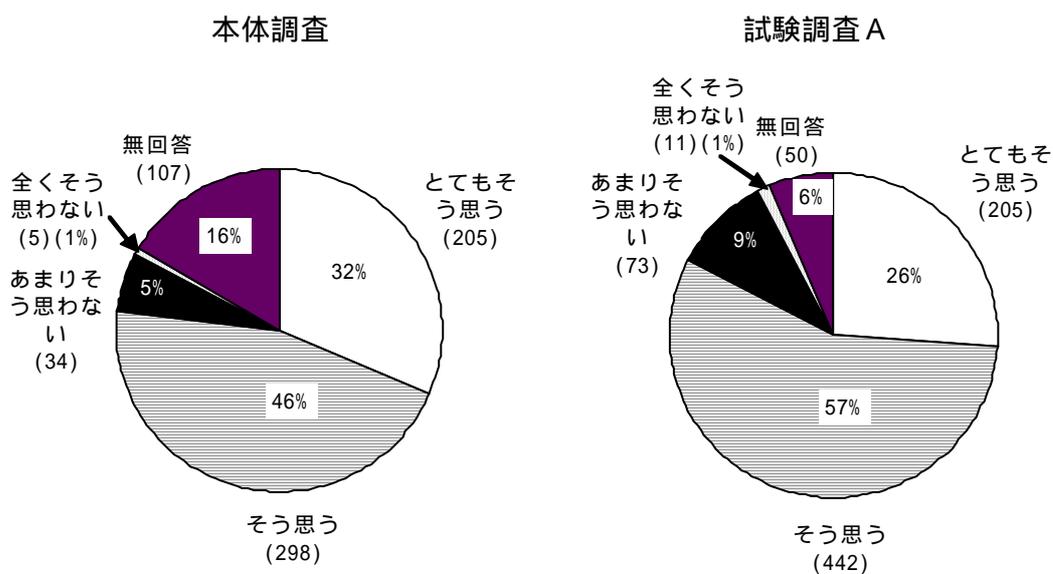
(対象：問1で調査票の配布を受けたと回答した事業所)

「とてもそう思う」の割合は、本体調査が高いが、「とてもそう思う」と「そう思う」を合わせたプラスの評価では試験調査Aの方が高くなっている。本体調査では無回答の割合が多くなっており、無回答を除いたプラス評価とマイナス評価の割合は、ほぼ同じとなる。

(1) 印象が良かった

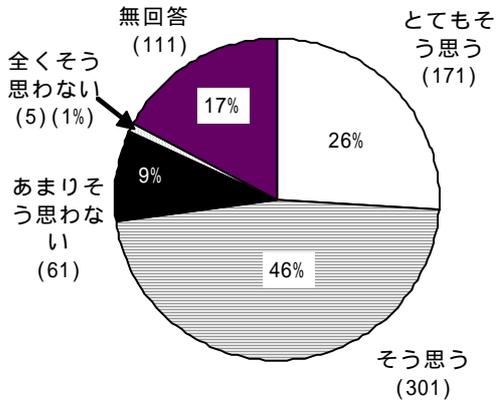


(2) 受け応えや対応がていねいだった

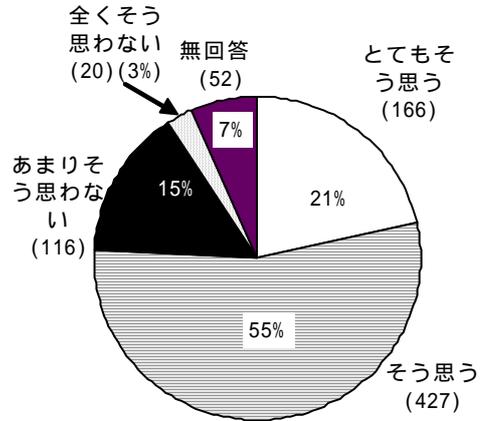


(3) 説明が的確だった

本体調査



試験調査 A



《試験調査 A》

問3 回答できなかった調査事項があると答えた事業所の割合

(対象：問2で調査票を提出したと回答した事業所)

	計	ある	割合
試験調査 A	746	237	32%

付問3 回答できなかった理由

(対象：問3で回答できなかった調査項目があると答えた事業所)

	記入の仕方や意味が分からないから	他人に知られたくなかったから	回答する必要性を感じなかったから	空欄でも構わないとの説明が調査員からあったから	回答できなかった理由を忘れた	その他	無回答
試験調査 A	28	20	53	38	5	64	29
割合	12%	8%	22%	16%	2%	27%	12%

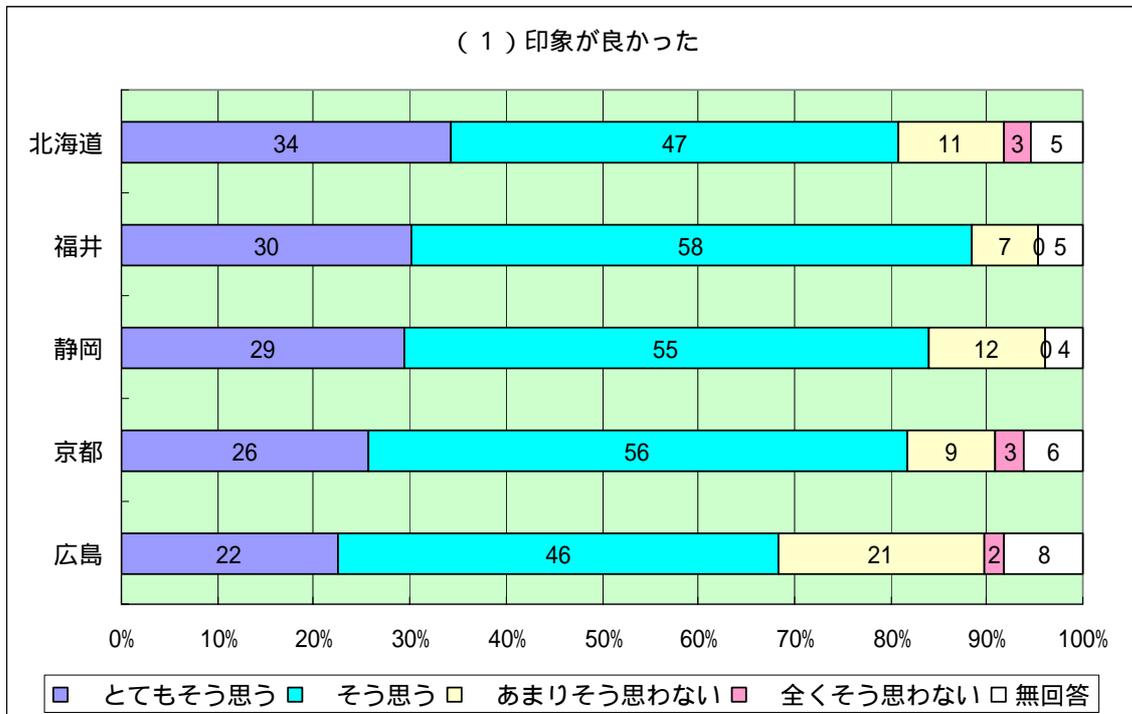
その他の自由記入では、従業員がいない、設備投資0円のためなど、0の記入漏れとみられる記入が多かった。

《試験調査B：会社別の比較》

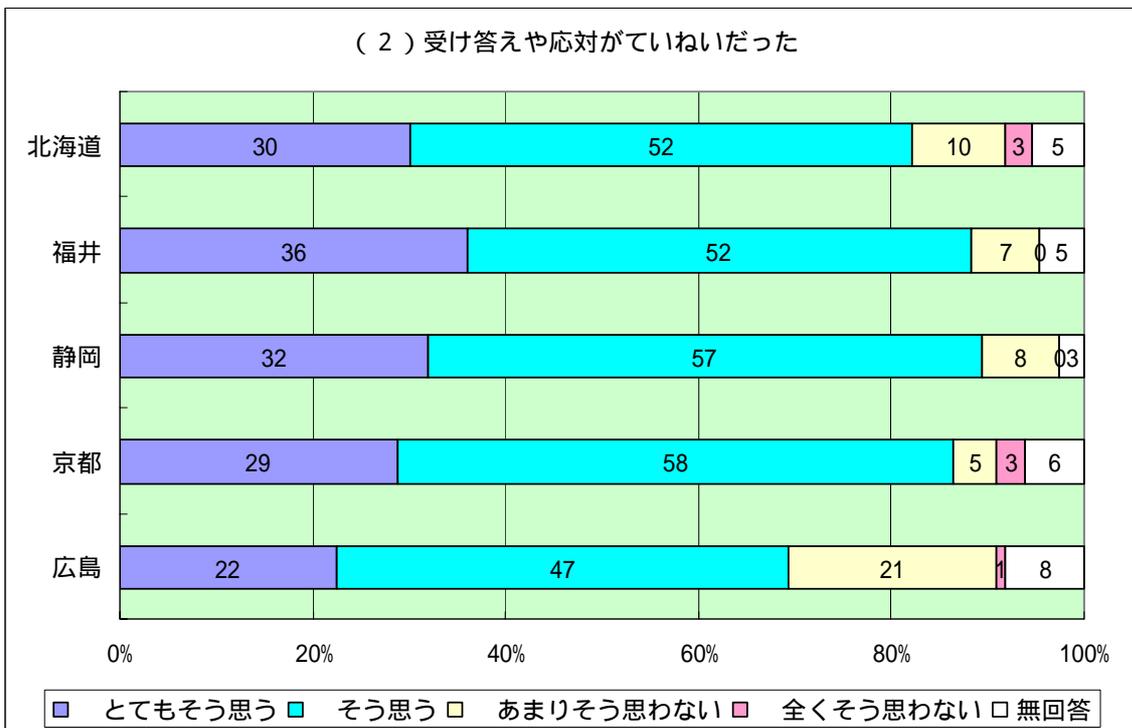
問4 調査員の対応についての評価

(対象：問1で調査票の配布を受けたと回答した事業所)

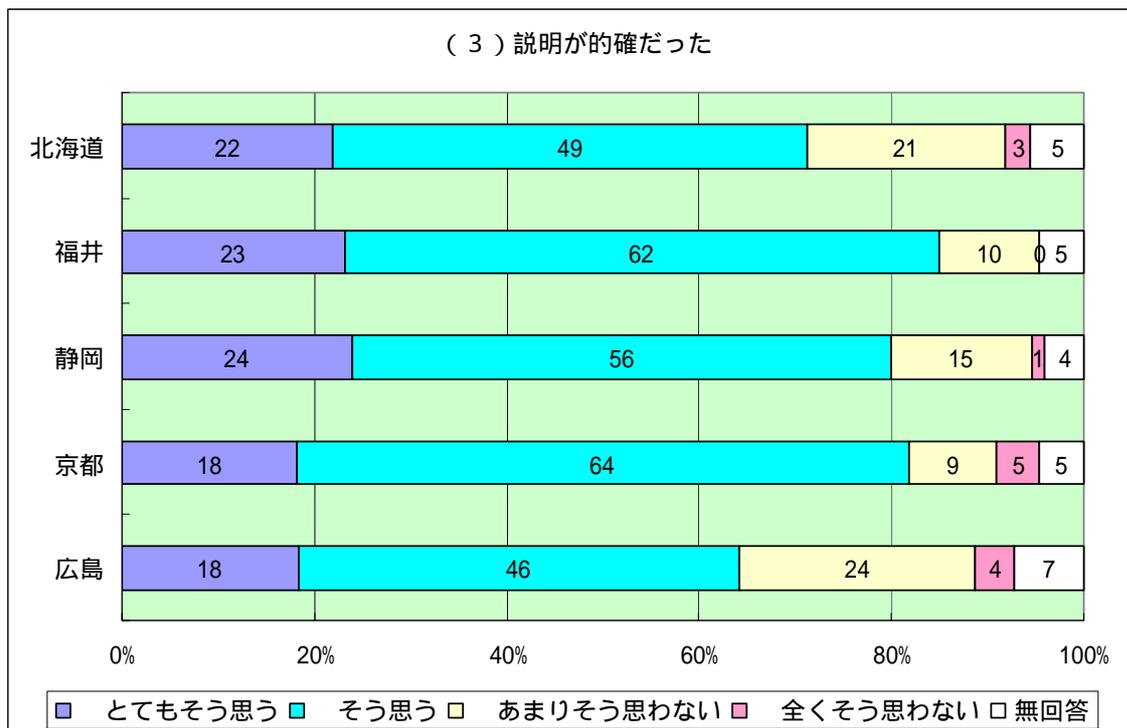
・調査員の印象については、「とてもそう思う」と「そう思う」を合わせたプラスの評価が北海道から京都までは、8割を超えているのに対して、広島では7割を切っている。



・調査員の受け答えや対応については、印象と同様の結果となっている。



・調査員の説明が的確だったかについては、北海道で「あまりそう思わない」が印象や受け答えに対して高くなっている。



問3 回答できなかった調査事項があると答えた事業所の割合

(対象：問2で調査票を提出したと回答した事業所)

・会社別に大きな差はなく、調査員の対応との関連は見られない。

	計	ある	割合
北海道	70	19	27%
福井	85	24	28%
静岡	75	23	31%
京都	64	15	23%
広島	91	29	32%

付問3 回答できなかった理由

(対象：問3で回答できなかった調査項目があると答えた事業所)

	実数	記入の仕方や意味が分からないから	他人に知られたくなかったから	回答する必要性を感じなかったから	空欄でも構わないとの説明が調査員からあったから	回答できなかった理由を忘れた	その他	無回答
北海道	2	3	1	3	1	8	1	
福井	1	4	9	1	0	5	4	
静岡	2	1	5	1	2	9	3	
京都	3	2	2	1	1	4	2	
広島	1	4	7	3	2	5	5	
北海道		11%	16%	5%	16%	5%	42%	5%
福井		4%	17%	38%	4%	0%	21%	17%
静岡		9%	4%	22%	4%	9%	39%	13%
京都		20%	13%	13%	7%	7%	27%	13%
広島		4%	15%	26%	11%	7%	19%	19%

問3 ご回答できなかった調査事項はありましたか。あった場合には、当てはまるものにいくつでもをつけてください。(添付の調査票のコピーを参考にしてください。一度も調査票をご提出いただいていない場合には問4へ)

<ol style="list-style-type: none">1. 「1 業況」2. 「2 売上の状況」3. 「3 営業利益の状況」4. 「4 製品・商品・原材料の在庫状況」5. 「5 資金繰りの状況」6. 「6 今期の雇用状況」7. 「7 従業者数」8. 「8 売上金額及び仕入金額」9. 「9 棚卸高」10. 「10 営業経費」11. 「11 給料賃金」12. 「12 設備投資」	} (付問3へ)
--	-----------

(問3で一つでも つけた方へ)

付問3 ご回答いただけなかった最も大きな理由は何ですか。最も当てはまるものに1つだけをつけてください。(回答後は問4へ)

<ol style="list-style-type: none">1. 記入の仕方や意味が分からないから2. 他人に知られたくなかったから3. 回答する必要性を感じなかったから4. 空欄でも構わないとの説明が調査員からあったから5. 回答できなかった理由を忘れた6. その他[]
--	---

問4 調査員の対応についてはどう思いましたか。以下の(1)~(3)について、「1.とてもそう思う」、「2.そう思う」、「3.あまりそう思わない」、「4.全くそう思わない」のうち、最も当てはまるものに をつけてください。

(1)印象が良かった・・・

1. とてもそう思う	2. そう思う	3. あまりそう思わない	4. 全くそう思わない
------------	---------	--------------	-------------

(2)受け応えや対応がていねいだった・・・

1. とてもそう思う	2. そう思う	3. あまりそう思わない	4. 全くそう思わない
------------	---------	--------------	-------------

(3)説明が的確だった・・・

1. とてもそう思う	2. そう思う	3. あまりそう思わない	4. 全くそう思わない
------------	---------	--------------	-------------

(問7で「2」と回答された方へ)

付問7-1 国・都道府県がよいと思う理由は何ですか。当てはまるものにいくつでも をつけてください。(回答後は問8へ)

1. 国・都道府県の方が、ていねいな受け答えや対応をすると思うから
2. 国・都道府県の方が、調査に関する知識や専門性を持ち、的確な説明ができると思うから
3. 国・都道府県の方が、知り得た情報についての秘密を守ると思うから
4. 国・都道府県の方が、効率的に業務を進めると思うから
5. 国・都道府県の方が、知り得た情報を調査とは無関係な他の目的に使用することはないと思うから
6. 場合によっては、調査員ではなく、直接国・都道府県に質問できるから
7. 国・都道府県の方が、全般的に良いと思うから
8. その他〔

(問7で「3」と回答された方へ)

付問7-2 民間事業者がよいと思う理由は何ですか。当てはまるものにいくつでも をつけてください。(回答後は問8へ)

1. 民間事業者の方が、ていねいな受け答えや対応をすると思うから
2. 民間事業者の方が、調査に関する知識や専門性を持ち、的確な説明ができると思うから
3. 民間事業者の方が、知り得た情報についての秘密を守ると思うから
4. 民間事業者の方が、効率的に業務を進めると思うから
5. 民間事業者の方が、知り得た情報を調査とは無関係な他の目的に使用することはないと思うから
6. 国・都道府県から委託を受けた民間事業者であれば信頼できると思うから
7. 民間事業者の方が、全般的に良いと思うから
8. その他〔

問8 その他、統計調査業務を民間事業者に委託することに関するご意見がございましたら、ご自由にご記入ください。



ご協力ありがとうございました。